

**「次世代郊外まちづくり」の取組みの一環として、
たまプラーザ テラスで電気自動車を活用したイベントを実施**

- ◆電気自動車の幅広いラインナップを展示します。
- ◆展示された電気自動車から、会場内一部設備に電力を供給します。
- ◆「生活者中心のスマートコミュニティ化」公開セッションを開催します。

■趣旨

横浜市と東京急行電鉄株式会社（以下、東急電鉄）は、平成24年4月18日に締結した「次世代郊外まちづくり」の推進に関する協定に基づき、第1号のモデル地区「たまプラーザ駅北側地区（横浜市青葉区美しが丘1～3丁目）」において、共同で取組を進めています。

この度、横浜市と東急電鉄は、日産自動車株式会社（以下「日産自動車」）と共同し、平成25年12月7日（土）・8日（日）、東急田園都市線たまプラーザ駅直結の商業施設「たまプラーザ テラス」において、日産自動車の電気自動車を使ったイベントを実施します。

本イベントは、横浜市と東急電鉄が取り組む「次世代郊外まちづくり」が掲げる「既成市街地における生活者中心のスマートコミュニティ化」の一環で、電気自動車を切り口に、近隣にお住まいの方々が地域全体のスマートコミュニティ化を考えるきっかけづくりとして実施するものです。

この取組は、横浜市が推進している「環境未来都市計画」の主要な取組である「持続可能な住宅地モデルプロジェクト」に位置づけています。

<URL>

<http://www.city.yokohama.lg.jp/ondan/futurecity/>



東急電鉄・日産自動車と同時発表です。

お問合せ先

温暖化対策統括本部 環境未来都市推進課担当課長	林 千賀	Tel 045-671-2336
建築局 企画部企画課長	鈴木 和宏	Tel 045-671-3627



NISSAN

平成 25 年 12 月 2 日
横 浜 市
東京急行電鉄株式会社
日産自動車株式会社

報道関係者 各 位

**「次世代郊外まちづくり」の取組みの一環として、
たまプラーザ テラスで電気自動車を活用したイベントを実施**

- ◆電気自動車の幅広いラインナップを展示します。
- ◆展示された電気自動車から、会場内一部設備に電力を供給します。
- ◆「生活者中心のスマートコミュニティ化」公開セッションを開催します。

横浜市、東京急行電鉄株式会社（以下「東急電鉄」という。）および日産自動車株式会社（以下「日産自動車」という。）は、12月7日（土）・8日（日）、東急田園都市線たまプラーザ駅直結の商業施設「たまプラーザ テラス」において、日産自動車の電気自動車を使ったイベントを実施します。

本イベントは、横浜市と東急電鉄が取り組む「次世代郊外まちづくり」が掲げる「既成市街地における生活者中心のスマートコミュニティ化」の一環で、電気自動車を切り口に、近隣にお住まいの方々が地域全体のスマートコミュニティ化を考えるきっかけづくりとして実施するものです。

当日は、日産自動車が東京モーターショー2013で参考出品した新たな電気商用車「e-NV200」、日常的な近場への外出に便利な超小型電気自動車「日産ニューモビリティコンセプト」(※)、および、現在市販されている電気自動車「日産リーフ」の3車種を展示します。

12月7日（土）には、ラジオパーソナリティの蒲田健氏の司会により、「生活者中心のスマートコミュニティ化」をテーマに、自動車評論家で環境ジャーナリストでもある川端由美氏や地域にお住まいの方々をゲストにお迎えして、ステージ上に設置されたこたつを囲んでの公開セッションを行います。なお、ステージに設置されたこたつと会場内の複数のモニターは、展示した電気自動車を電源とします。

会場では、地域全体での省エネルギー意識の向上を目的として次世代郊外まちづくりが現在実施している「家庭の省エネプロジェクト」の告知も行います。

本イベントの概要は、別紙のとおりです。

※本年2月に次世代郊外まちづくりのモデル地区であるたまプラーザ駅北側地区（横浜市青葉区美しが丘1・2・3丁目）で、日産ニューモビリティコンセプトを使ったモニター調査（子育て世代の一般家庭への車両貸し出し）を行いました。

以 上

お問い合わせ先

横浜市 温暖化対策統括本部 環境未来都市推進課 担当課長 林 千賀	Tel 045-671-2336
横浜市 建築局 企画部企画課長 鈴木 和宏	Tel 045-671-3627
東京急行電鉄株式会社 社長室広報部 森田・柳澤・田中・長谷	Tel 03-3477-6086
日産自動車株式会社 グローバルマーケティングマネージャオフィス 菅・小坂	Tel 050-3804-6202

(別紙) 本イベントの概要

1. 目的

「次世代郊外まちづくり」が掲げている「既成市街地における生活者中心のスマートコミュニティ化」の一環で、電気自動車を切り口に、近隣にお住まいの方々が地域全体のスマートコミュニティ化を考えるきっかけづくりとして実施。

2. 実施日時

平成25年12月7日(土)・8日(日) 両日とも11～16時

3. 実施場所

たまプラーザ テラス ステーションコート

所在地：横浜市青葉区美しが丘1-1-2 (東急田園都市線 たまプラーザ駅隣接)

4. 実施内容

(1) 電気自動車の展示

<開催日時> 12月7日(土)・8日(日) 両日とも11～16時

<展示車両>

・e-NV200 (2014年度中に発売)	1台
・日産ニューモビリティコンセプト (国内未販売)	1台
・日産リーフ (販売中)	1台

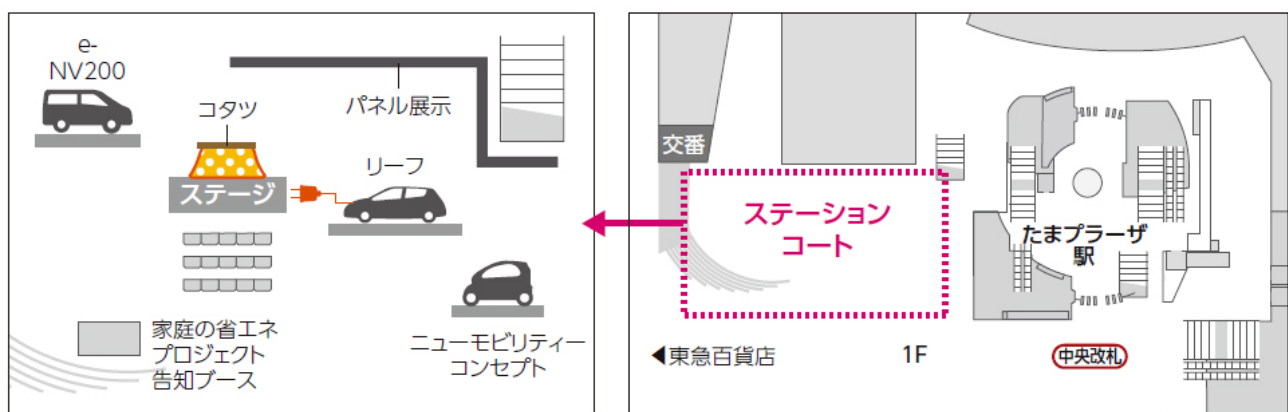
(2) 公開セッション

<開催日時> 12月7日(土) 13時30分～14時30分(予定)

<テーマ> 生活者中心のスマートコミュニティって？

<参加者> 司会者：蒲田健氏(ラジオパーソナリティ)
ゲスト：川端由美氏(自動車評論家、環境ジャーナリスト)
本年2月に実施したモニター調査にご協力いただいた地域の方 他

(3) イベントレイアウト(イメージ図)



5. 主催

横浜市、東京急行電鉄株式会社、日産自動車株式会社

<参 考>

(1) 「次世代郊外まちづくり」の概要

次世代郊外まちづくりは、「既存のまちの持続、再生」を目的に、地域住民、行政、大学、民間事業者の連携・協働によって「暮らしのインフラ」と「住まい」を再構築し、少子社会、高齢社会のさまざまな課題を一体的に解決していくことを目指していく、従来にない参加型・課題解決型のまちづくり手法を進めるプロジェクトです。横浜市が推進している「環境未来都市」計画において、超高齢化対応の主要な取組みである「持続可能な住宅地プロジェクト」として位置付けています。

また、「次世代郊外まちづくり」の主要な取組みとして、快適かつ省エネルギーな街づくりを目指し、既成市街地における生活者中心のスマートコミュニティ化を目的に、横浜市と東急電鉄が日産自動車ほか7社の民間企業などと共同で、平成24年12月にスマートコミュニティ推進部会を設置しました。

(2) 「家庭の省エネプロジェクト」の概要

スマートコミュニティ推進部会が実施している取組み。10月9日(水)から12月31日(火)までの間に参加申込みを行い、11月から平成26年1月にかけて、各ご家庭での省エネ活動に取り組んでいただくと、省エネの達成状況に応じて、たまプラーザの商業施設や商店街で使える地域通貨「次世代郊外まちづくりポイント(単位: プラ)」をプレゼントします。

以 上